

卸売市場をめぐる情勢について

令和 8 年10月

農林水産省

大臣官房 新事業・食品産業部 食品流通課

目 次

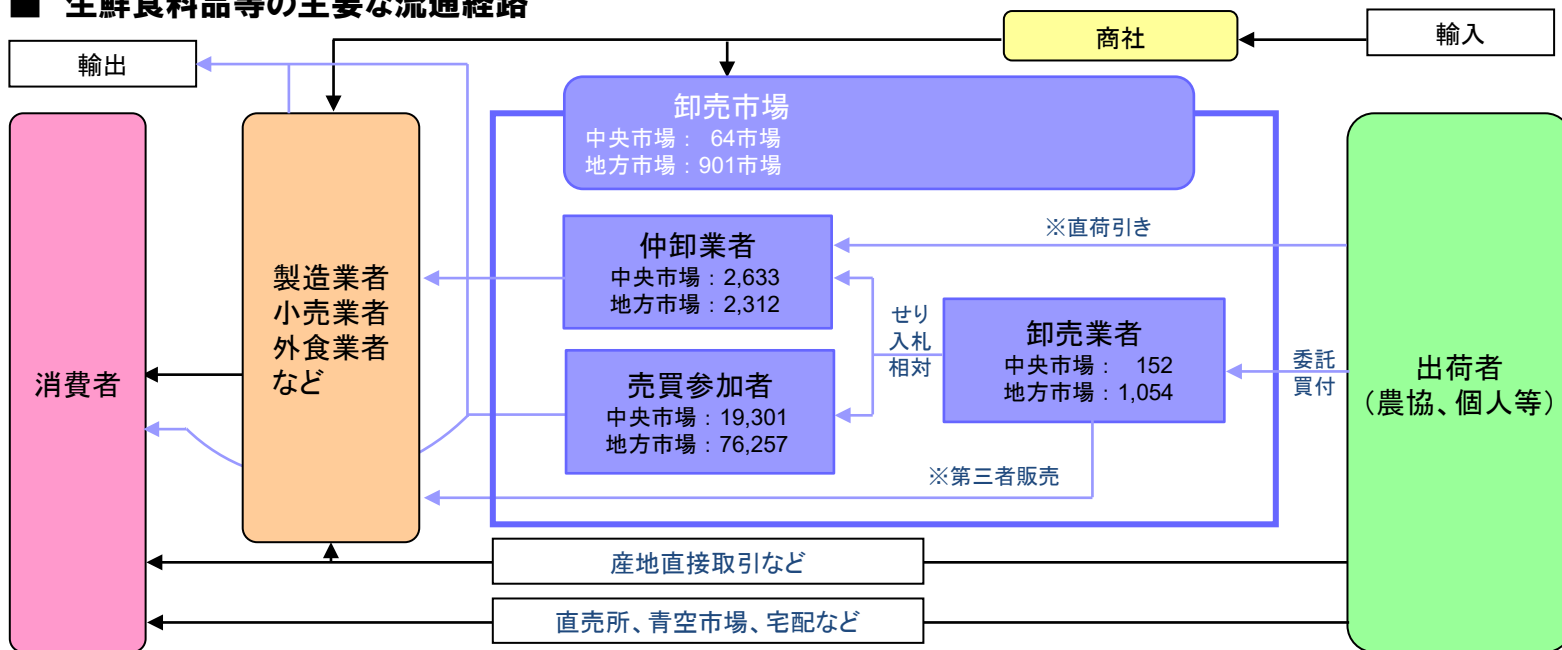
卸売市場をめぐる情勢について

○ 卸売市場の役割・機能	1
○ 中央卸売市場の取引構造	2
○ 中央卸売市場の位置	6
○ 卸売市場経由率と卸売市場数・卸売業者数	8
○ 卸売市場の取扱金額	9
○ 卸売業者及び仲卸業者の経営動向	11

○ 卸売市場の役割・機能

- 卸売市場は、野菜、果物、魚、肉など日々の食卓に欠かすことのできない生鮮食料品等を国民に円滑かつ安定的に供給するための基幹的なインフラとして、多種・大量の物品の効率的かつ継続的な集分荷、公正で透明性の高い価格形成など重要な機能を有している。
- 卸売市場は生鮮食料品等の流通の基幹的なインフラとしての役割を果たしており、青果の5割強、水産物の4割強が卸売市場を経由している(国産青果物では約7割)。

■ 生鮮食料品等の主要な流通経路



※第三者販売及び直荷引きについては、市場によっては業務規程において、その取引を制限している場合がある。
(中央市場の市場数及び卸売業者数のデータは令和7年度末時点、中央市場の他の業者数及び地方市場のデータは令和6年度末時点)

■ 市場の主要機能

① 集荷(品揃え)、分荷機能

全国各地から多種・大量の物品を集荷するとともに、実需者のニーズに応じて、迅速かつ効率的に必要な品目、量へと分荷

② 価格形成機能

需給を反映した公正で透明性の高い価格形成

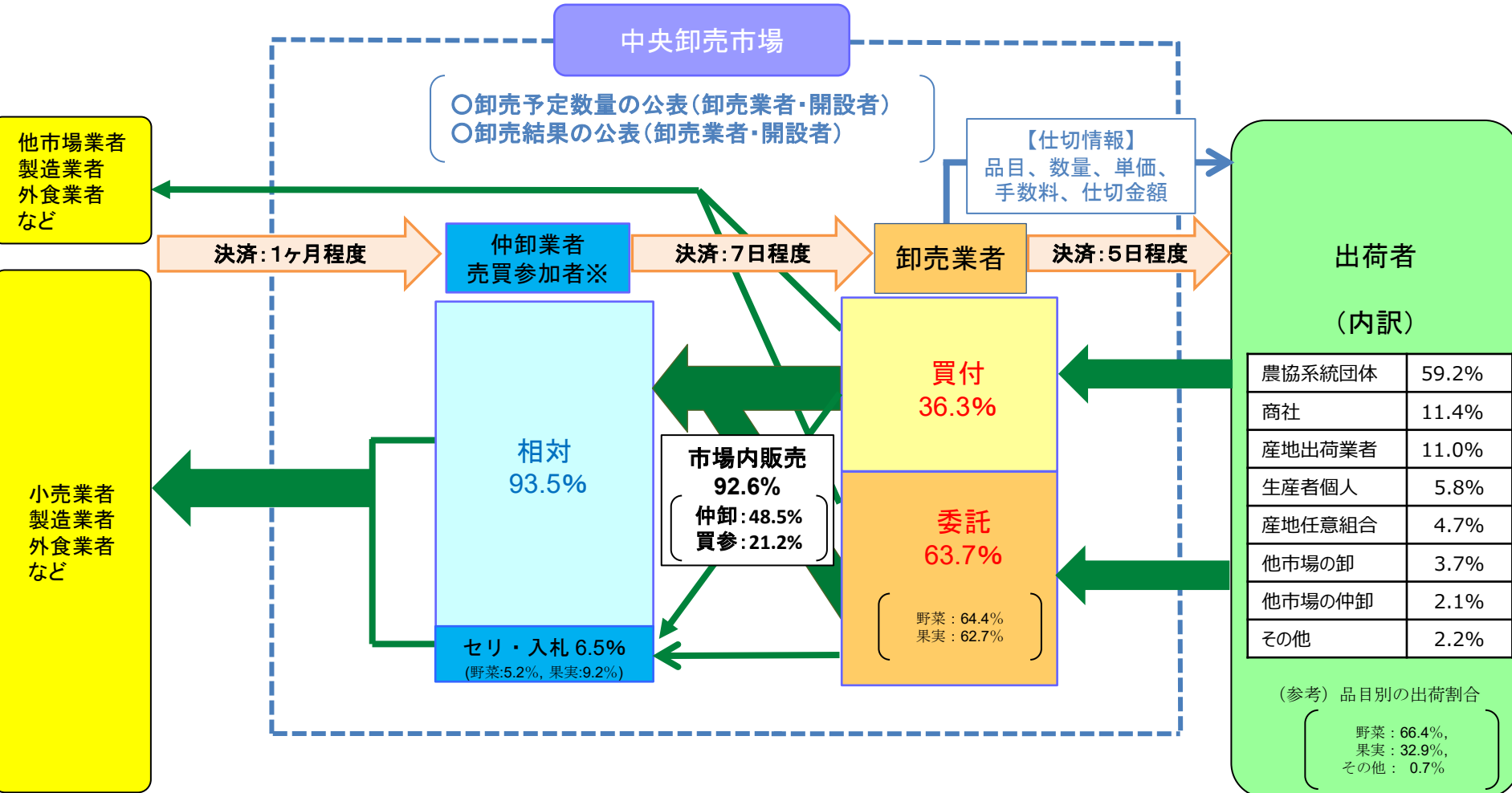
③ 代金決済機能

販売代金の出荷者への迅速・確実な決済

④ 情報受発信機能

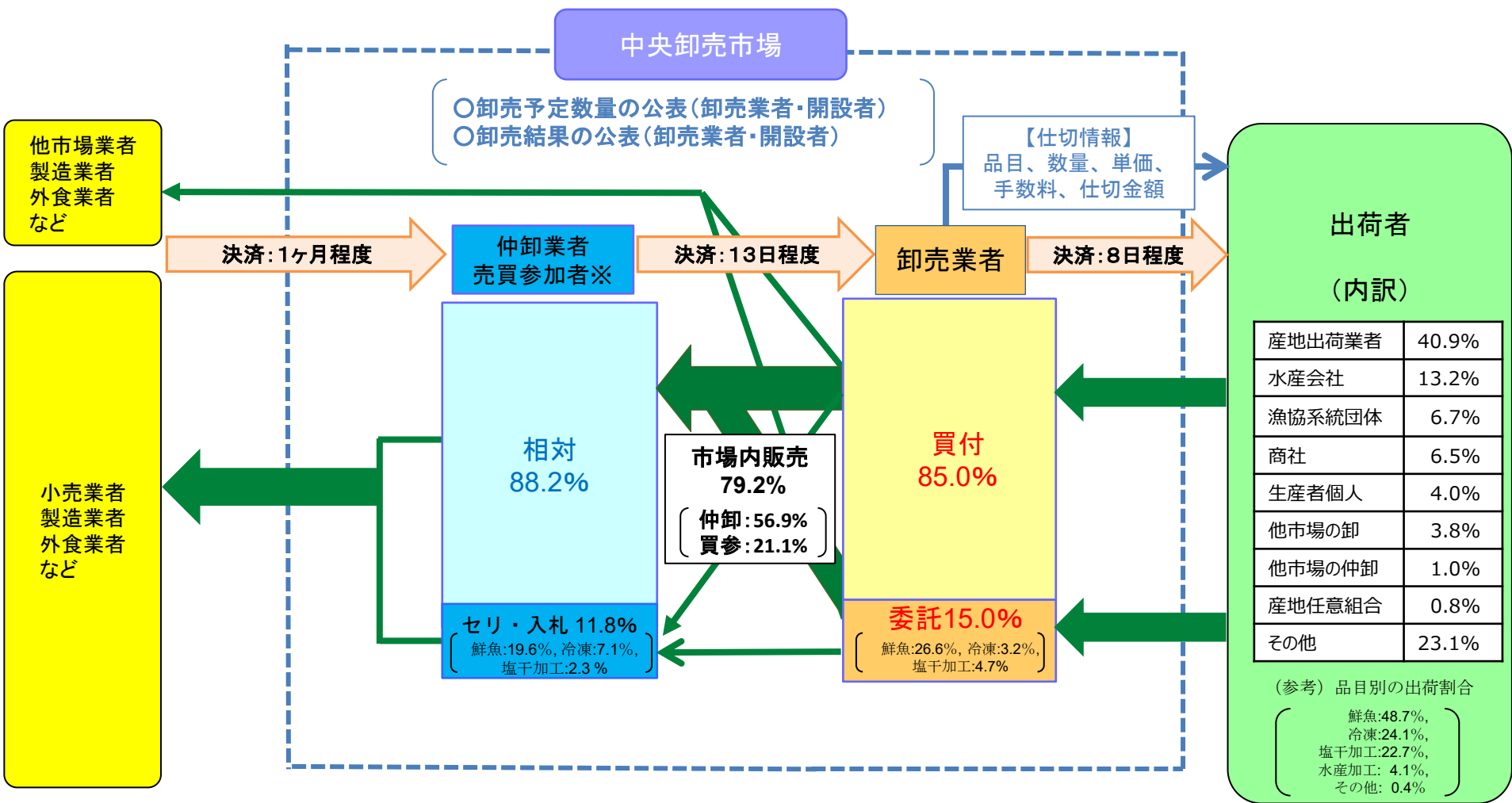
需給に係る情報を収集し、川上・川下それぞれに伝達

○中央卸売市場の取引構造(青果)



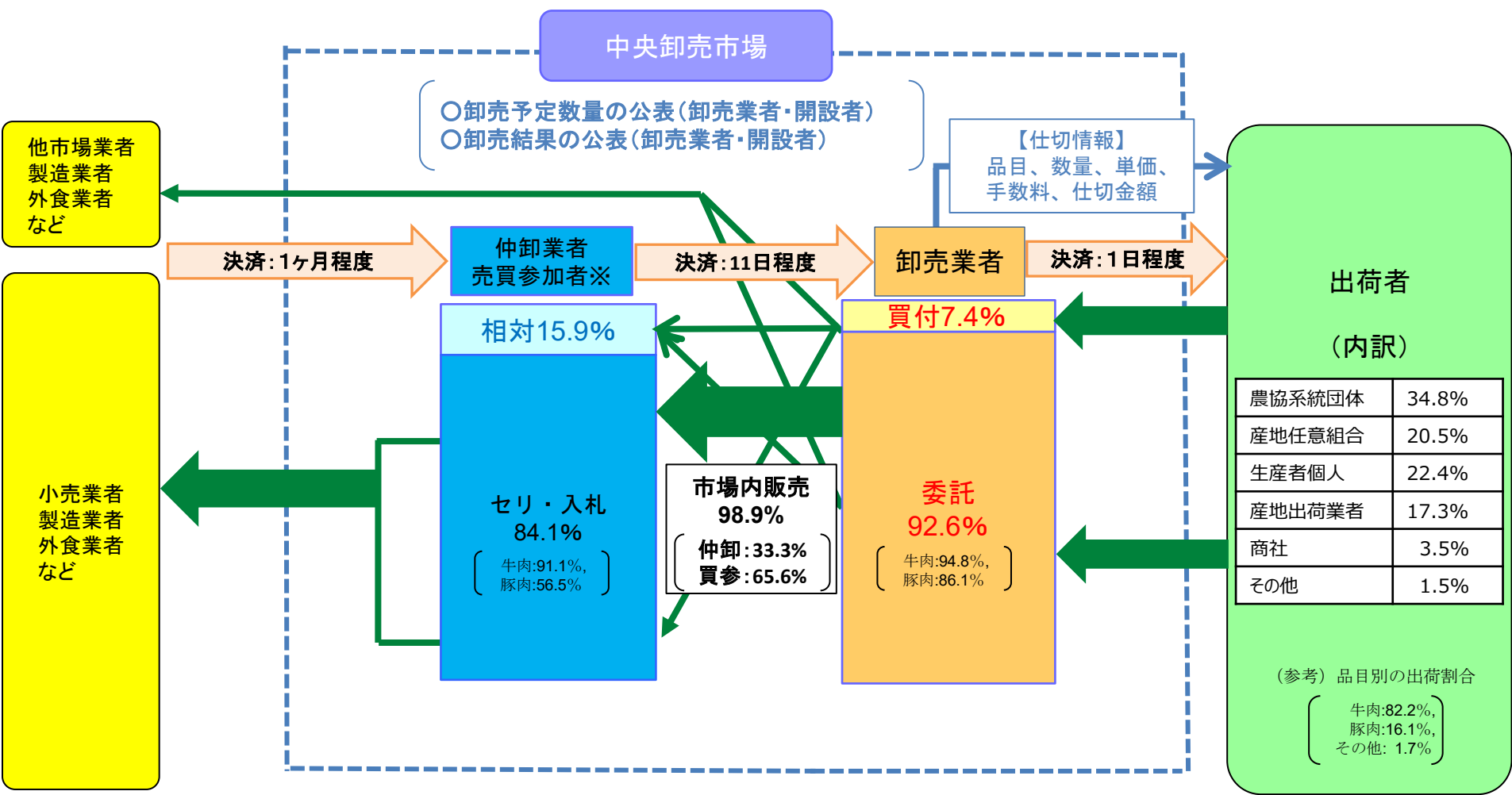
※ 各種の割合は、令和6年度(金額ベース)

○中央卸売市場の取引構造(水産)



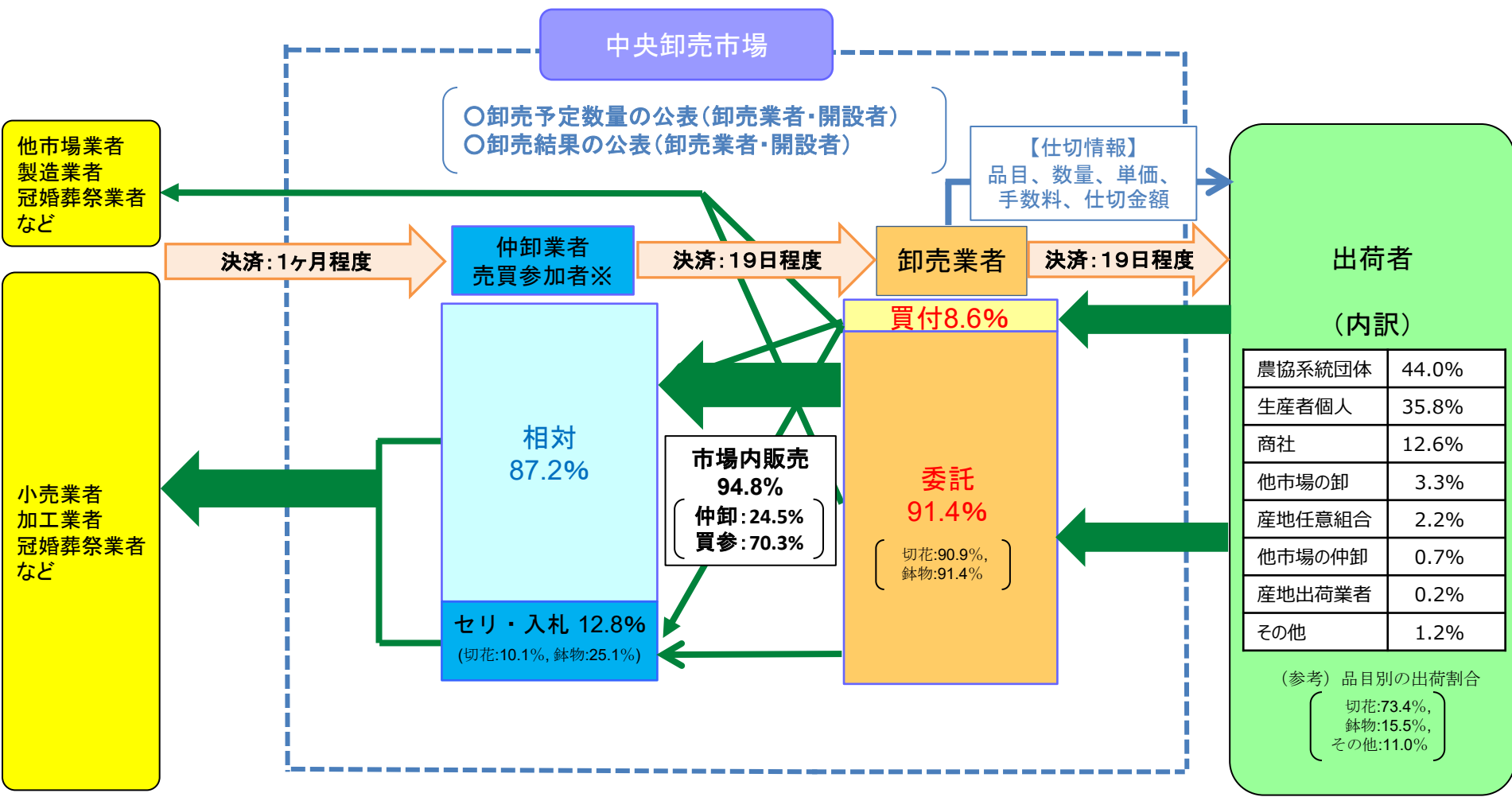
※ 各種の割合は、令和6年度(金額ベース)

中央卸売市場の取引構造(食肉)



※ 各種の割合は、令和6年度(金額ベース)

○中央卸売市場の取引構造(花き)



※ 各種の割合は、令和6年度(金額ベース)

○ 中央卸売市場の位置

○ 全64市場(39都市)

青 果 : 50市場(38都市)

水産物 : 34市場(29都市)

食 肉 : 10市場(10都市)

花 き : 13市場(9都市)

※令和7年度末時点

凡例

●: 開設者が都府県のもの

○: 開設者が市のもの

数値は開設(業務開始)年を表す(年号は昭和)



注: 以下の開設者にあつては、複数市場を開設

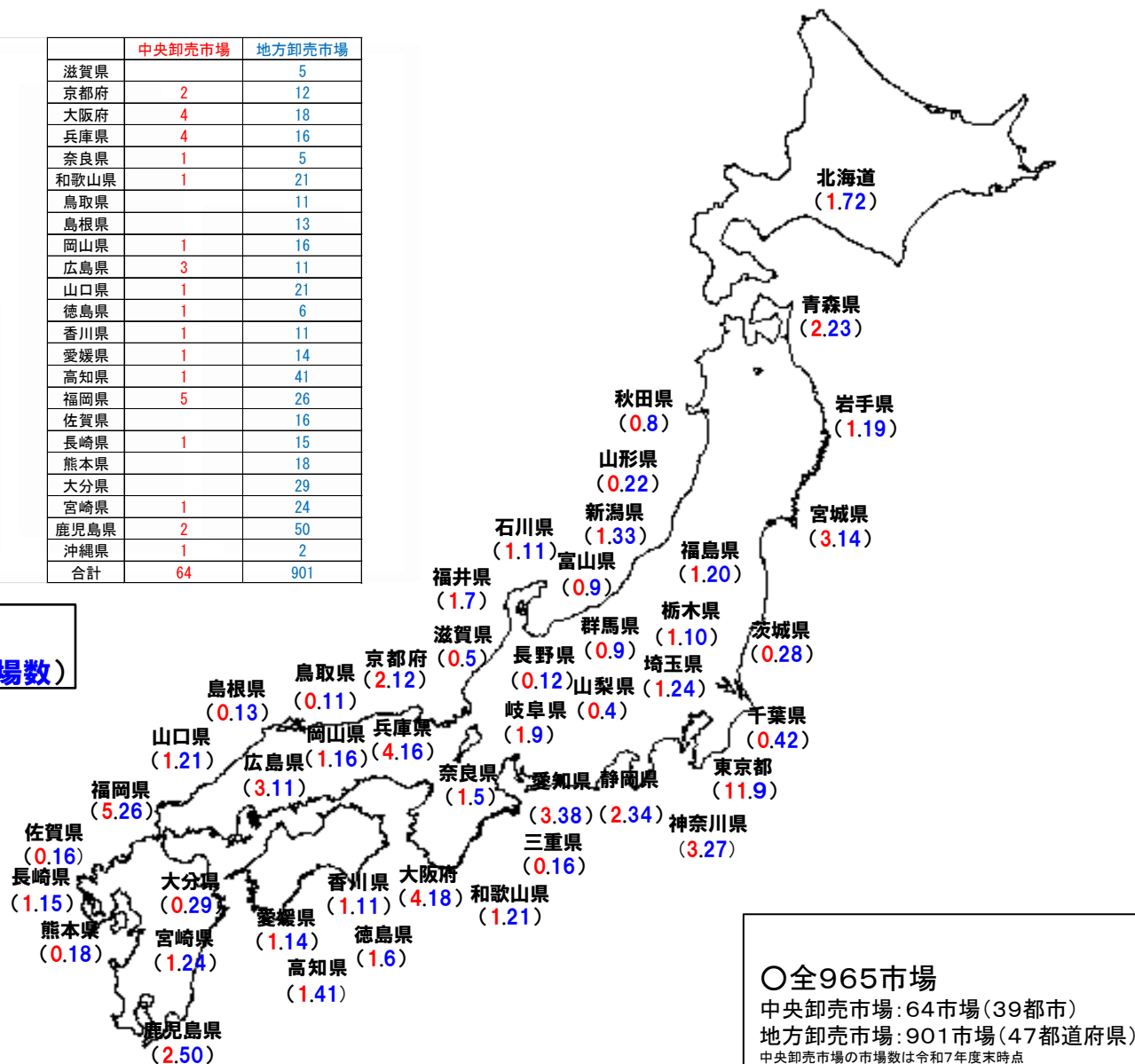
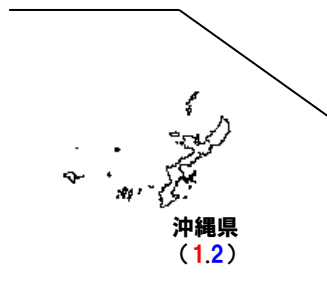
仙台市3市場、東京都11市場、横浜市2市場、名古屋市3市場、
京都市2市場、大阪市3市場、神戸市3市場、広島市3市場、
福岡市3市場、鹿児島市2市場(令和7年度末現在)

○ 中央卸売市場・地方卸売市場の市場数

	中央卸売市場	地方卸売市場
北海道	1	72
青森県	2	23
岩手県	1	19
宮城県	3	14
秋田県		8
山形県		22
福島県	1	20
茨城県		28
栃木県	1	10
群馬県		9
埼玉県	1	24
千葉県		42
東京都	11	9
神奈川県	3	27
新潟県	1	33
富山県		9
石川県	1	11
福井県	1	7
山梨県		4
長野県		12
岐阜県	1	9
静岡県	2	34
愛知県	3	38
三重県		16

	中央卸売市場	地方卸売市場
滋賀県		5
京都府	2	12
大阪府	4	18
兵庫県	4	16
奈良県	1	5
和歌山県	1	21
鳥取県		11
島根県		13
岡山県	1	16
広島県	3	11
山口県	1	21
徳島県	1	6
香川県	1	11
愛媛県	1	14
高知県	1	41
福岡県	5	26
佐賀県		16
長崎県	1	15
熊本県		18
大分県		29
宮崎県	1	24
鹿児島県	2	50
沖縄県	1	2
合計	64	901

地図の表記の仕方
(中央卸売市場数, 地方卸売市場数)

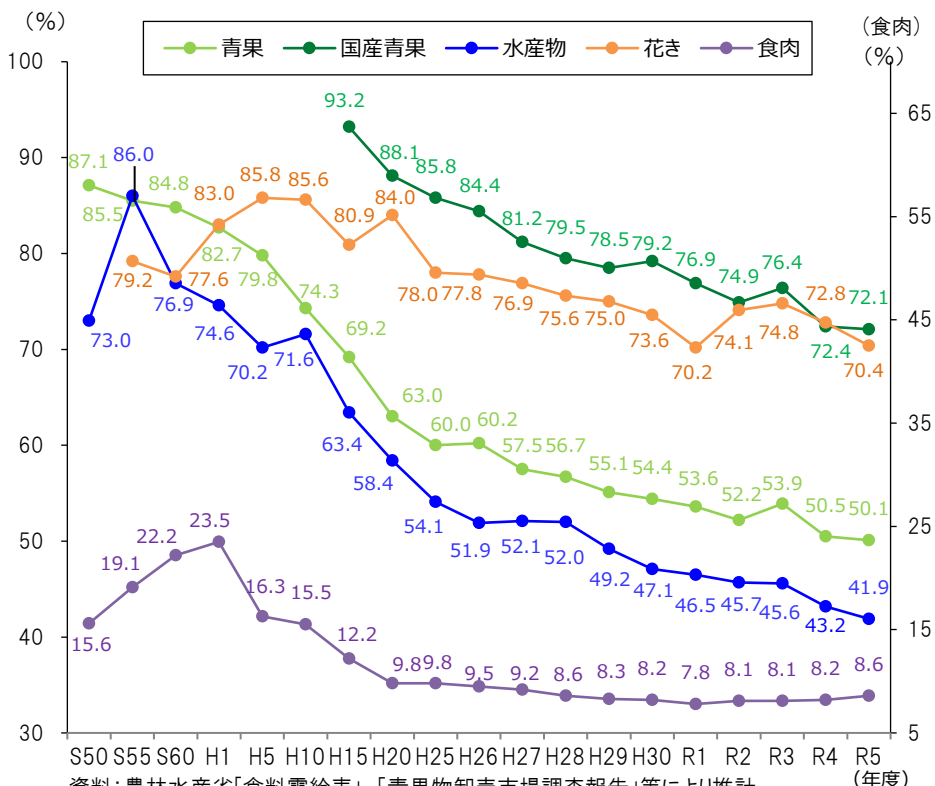


○全965市場
中央卸売市場: 64市場 (39都市)
地方卸売市場: 901市場 (47都道府県)
中央卸売市場の市場数は令和7年度末時点
地方卸売市場の市場数は令和6年度末時点。

○ 卸売市場経由率と卸売市場数・卸売業者数

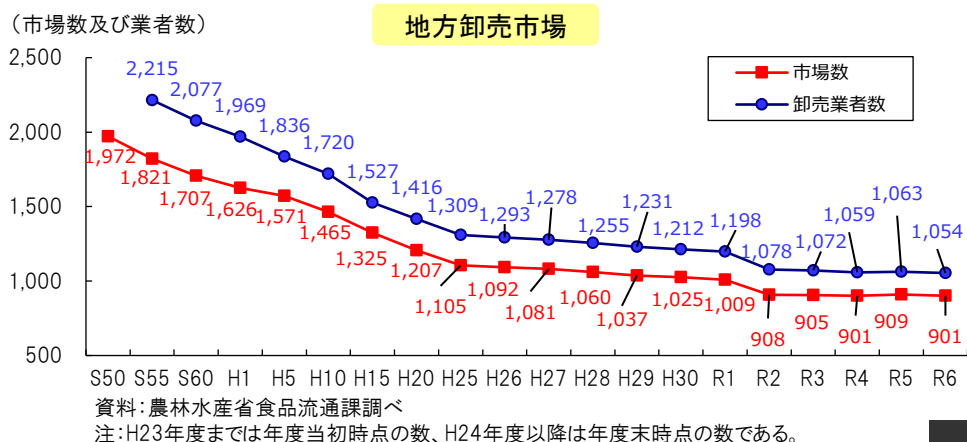
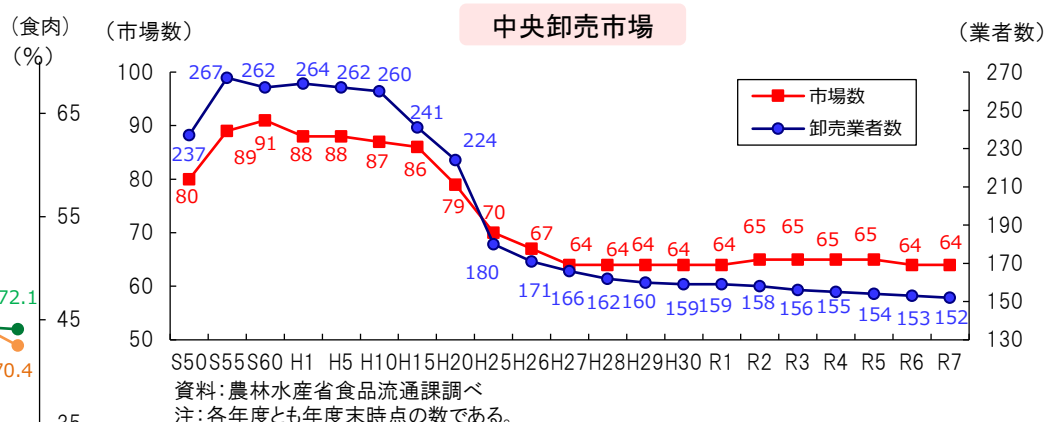
- 卸売市場は生鮮食料品等の流通の基幹的なインフラとしての役割を果たしており、青果の5割強、水産物の4割強が卸売市場を経由している(国産青果物では約7割)。
- 市場経由率は、加工品など卸売市場を経由することが少ない物品の流通割合の増加等により、食肉を除き、低下傾向で推移している。
- 中央卸売市場の市場数は、近年横ばいで推移している。一方、地方卸売市場については、市場数及び卸売業者数が減少傾向にある。

■卸売市場経由率の推移(重量ベース、推計)



資料：農林水産省「食料需給表」、「青果物卸売市場調査報告」等により推計
 注：卸売市場経由率は、国内で流通した加工品を含む国産及び輸入の青果、水産物等のうち、卸売市場(水産物についてはいわゆる産地市場の取扱量は除く。)を経由したものの数量割合(花きについては金額割合)の推計値。

■卸売市場数、卸売業者数の推移



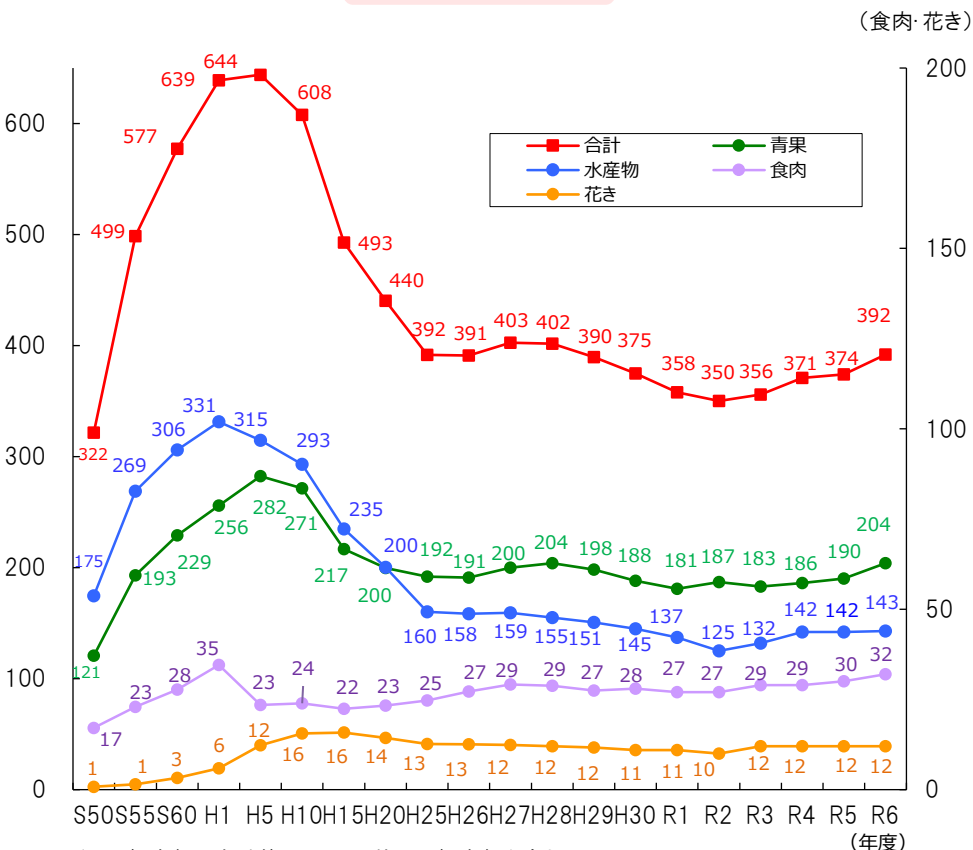
資料：農林水産省食品流通課調べ
 注：H23年度までは年度当初時点の数、H24年度以降は年度末時点の数である。

○卸売市場の取扱金額

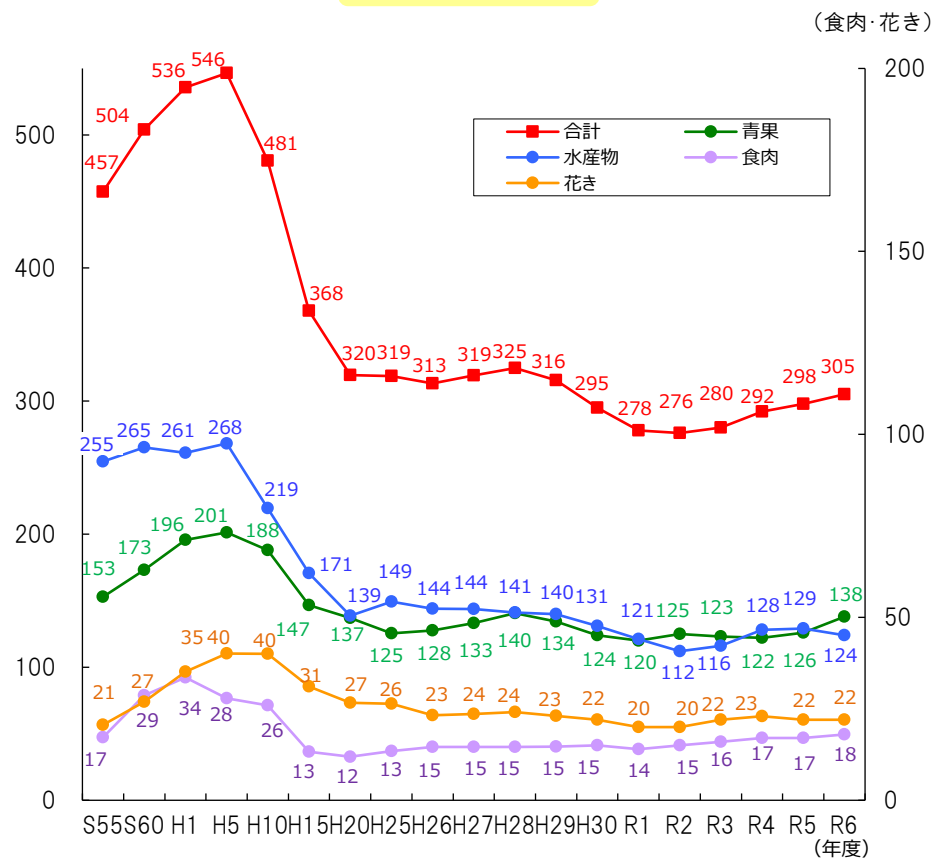
○ 卸売市場の取扱金額は、平成初期にピークを迎え、その後、市場外流通の増加等による取扱数量の減少等により総じて減少傾向で推移してきたが、近年、部類によっては概ね横ばいの傾向もみられる。

■取扱金額の推移(単位:100億円)

中央卸売市場



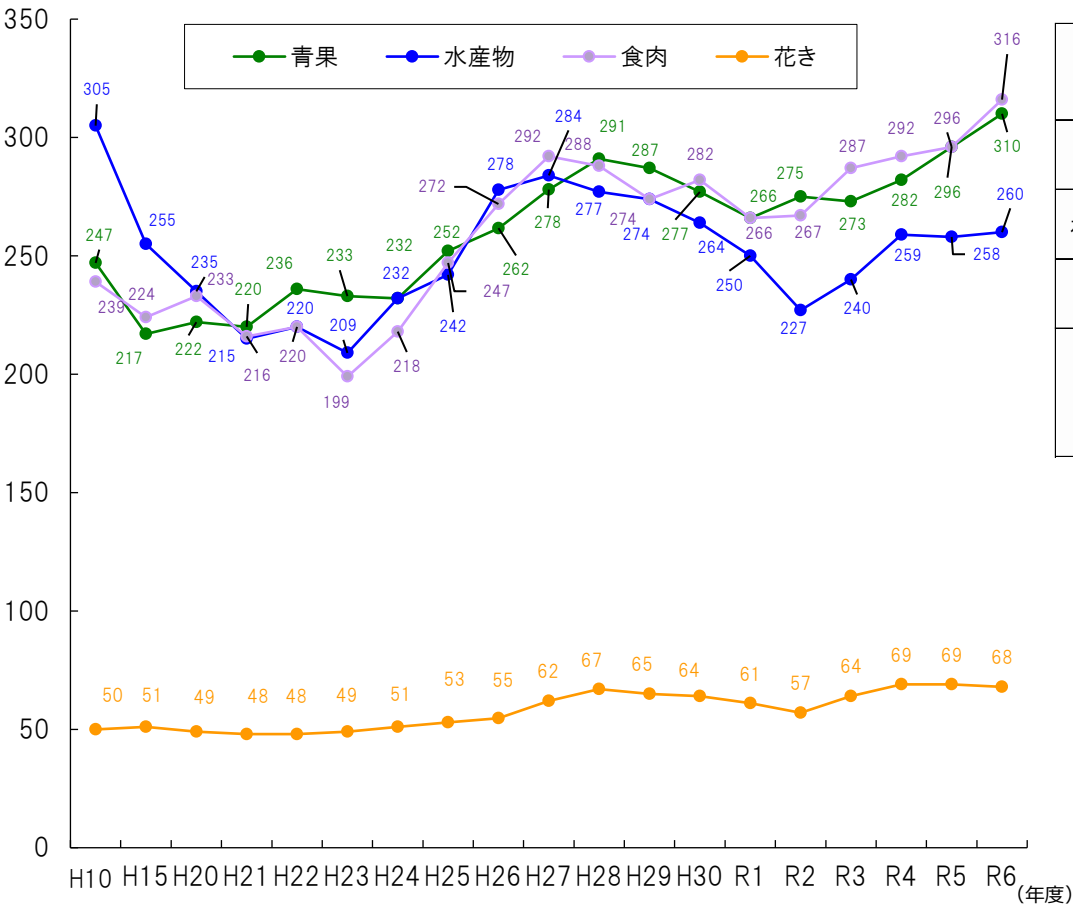
地方卸売市場



卸売業者の経営動向(取扱金額等)

中央卸売市場における卸売業者1業者当たりの取扱金額は、令和3年度からおおむね上昇傾向で推移している。

中央卸売市場卸売業者
1業者当たり取扱金額の推移(単位:億円)



資料: 農林水産省食品流通課調べ

中央卸売市場の取扱規模別卸売業者数
(令和6年度)

区分	取扱規模別卸売業者数						1業者当たり取扱金額		
	50億円未満	50～100億円未満	100～500億円未満	500～1,000億円未満	1,000億円以上	計	(億円)		
							平均	最高	最低
青果	3 (4.7)	13 (20.3)	35 (54.7)	11 (17.2)	2 (3.1)	64 (100)	310	2,622	11
水産物	6 (10.9)	14 (25.5)	28 (50.9)	5 (9.1)	2 (3.6)	55 (100)	260	1,256	32
食肉	—	2 (20.0)	7 (70.0)	—	1 (10.0)	10 (100)	316	1,487	70
花き	(10億円未満)	(10～30億円未満)	(30～50億円未満)	(50～100億円未満)	(100億円以上)	(計)	68	321	5
	2 (11.8)	5 (29.4)	3 (17.6)	5 (29.4)	2 (11.8)	17 (100)			

資料: 農林水産省食品産業部食品流通課調べ

- 注1. ()内は構成比(%)である。ラウンドのため、内訳の合計が100にならないことがある。
2. 取扱規模には兼業部門を含まない。
3. 業者数は年度内に廃業等した業者数を含むため、年度末現在の業者数と合致しないことがある。

○ 卸売業者及び仲卸業者の経営動向(収益性)

- 中央卸売市場の卸売業者の売上総利益率や営業利益率は、類似業態である飲食料品卸売業に比べて低い。
- 中央卸売市場の仲卸業者の営業利益率は、類似業態である飲食料品卸売業に比べて低い。

■ 中央卸売市場卸売業者及び仲卸業者の総売上高に占める売上総利益等の割合(令和6年度)

【卸売業者】

(単位：%)

	青果	水産	食肉	花き
売上総利益(粗利)率	6.57	6.64	4.14	10.56
販売費・一般管理費比率	5.70	5.88	3.97	10.30
うち人件費比率	2.23	2.77	1.58	5.88
営業利益率	0.79	0.76	0.16	0.26

【仲卸業者】

(単位：%)

	青果	水産	食肉	花き
売上総利益(粗利)率	13.07	13.61	7.78	18.04
販売費・一般管理費比率	12.34	12.91	7.01	17.92
うち人件費比率	5.20	6.73	2.84	9.62
営業利益率	0.73	0.67	0.77	0.12

資料：農林水産省食品流通課調べ

(参考)他業態の総売上高に占める売上総利益等の割合(令和6年度決算実績)

(単位：%)

	全産業	食料品製造業	飲食料品卸売業	飲食料品小売業	飲食店	持ち帰り・配達 飲食サービス業
売上総利益(粗利)率	25.2	22.7	13.2	29.4	63.4	49.3
販管費・一般管理費比率	21.5	19.7	11.8	28.0	61.3	47.7
うち人件費比率	9.5	7.1	4.6	11.3	28.3	26.2
営業利益率	3.7	3.0	1.4	1.4	2.0	1.6

資料：中小企業庁「中小企業実態基本調査」

(注) 法人企業のデータである。